

# GLP ALFALINK相模原Ⅱプロジェクト

GLP ALFALINK Sagamihara II Project

No. 15-030-2022作成

新築  
物流施設

発注者	相模原2ロジスティック特定目的会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	東急建設株式会社一級建築士事務所		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	東急建設株式会社東日本建築支店		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

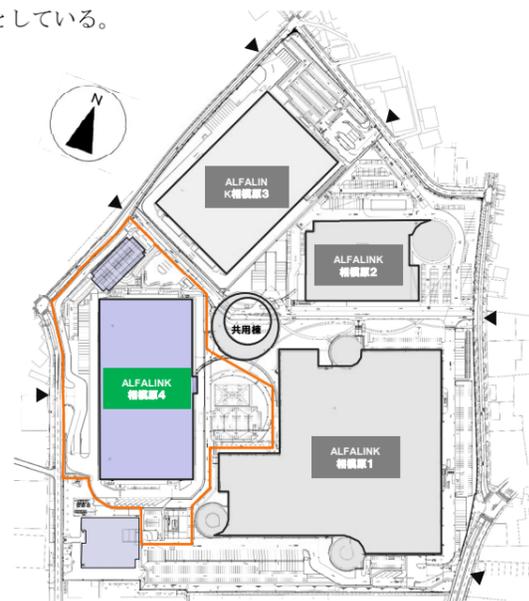
## 開放的なエントランスをもつ環境配慮型物流施設

### ■計画概要・コンセプト

GLP ALFALINK相模原Ⅱプロジェクト(現:ALFALINK相模原4)は、神奈川県相模原市に建つ15万1700㎡のBTS型物流施設である。躯体のプレキャスト化・全館LED照明・大開口へのLow-Eガラスを採用し、環境配慮を行っている。

併せて、各所に将来的な可変性を見越した対応を行っており、高いフレキシビリティを確保している。

ALFALINK相模原の敷地中央にある共用棟へのアクセスを考慮しブリッジを設置することで、敷地全体へ人々の動線を誘導できる計画としている。



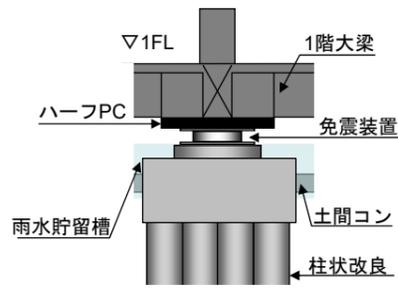
GLP ALFALINK相模原Ⅱ 外観写真



GLP ALFALINK相模原Ⅱ エントランス写真

### ■免震構造

基礎梁を設けず、土間コンで基礎を連結する基礎免震構造を採用している。また、地下に計画される免振ピットは雨水貯留槽として利用することで、空間を有効利用している。



免震構造概念図

### ■Pca (プレキャスト) 造

建物の構造は、プレキャストを採用することで、品質の向上と、型枠の使用量を削減する計画としている。

5階は天井梁を鉄骨で計画しており、解体時には梁材を再利用して使用することができる。



プレキャスト造イメージ図

### ■景観への配慮・交通負荷抑制・空調負荷低減

外装は敷地内の他建物に合わせてシルバー色で統一している。道路境界際には敷地全体で統一感のある植栽を選定することで周辺への景観配慮を行っている。

また、敷地内には適切な台数の駐車・駐輪スペースを確保し、建物ごとに出入口を設けることで動線を分離して、交通量の負荷低減のための配慮を行っている。

メインエントランスは大きなガラスキューブをイメージした、カーテンウォールの二層吹抜空間となっている。

Low-E複層ガラスとロールブラインドを採用し、空調負荷低減を図っている。



GLP ALFALINK相模原Ⅱ 北東側外観写真

### ■BCP対応

地震などの災害対策として、建物構造面ではPCaPC工法および免震構造を採用している。また、GLP ALFALINK相模原全体では、設備面で非常用電源をはじめ、断水時にも水が供給できる地下水供給設備、非常用電源を追加利用できる燃料備蓄基地を設置している。災害時には近隣住民の方々の避難場所として施設を開放するとともに、緊急支援助物資輸送の体制を整えている。

### ■倉庫内空調

倉庫内にビッグアスファンを設けることで、倉庫内部の大空間を効率的に換気できるようなシステムとした。

24時間の稼働が想定されるため、作業する人のいる空間が常に快適な場所となるような配置検討した。



大型シーリングファンイメージ

### ■LEED Gold取得

ALFALINK相模原の各建物については、LEEDを取得することとなったため、着工後からLEED Goldの取得に向けた検討を開始した。



内観イメージ



CO2センサーイメージ

環境に配慮したエコリーフマークの装材の使用、CO2センサーの設置等により、次年度、Platinumに次ぐGoldランクでの認証を得る予定。



LEED認証

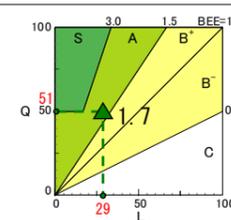
### ■ZEB 取得予定

LEED GOLDと共に、ZEBの取得も予定している。屋根部分には、およそ14,200㎡の太陽光パネルを設置。発電量300万kWh/年となり、倉庫内の使用電力の一部として利用される。



太陽光イメージ

建物データ	所在地	神奈川県相模原市	省エネルギー性能	BPI (モデル建物法)	0.69	CASBEE評価	Aランク
	竣工年	2022年		BEI (モデル建物法)	0.53		BEE=1.7
	敷地面積	69,393㎡		LCC02削減	23%		2016年度版 第三者認証
	延床面積	151,718㎡		LEED Gold取得予定 (2023年秋予定)			
	構造	PC造(PCa造) 一部S造					
	階数	地上5階					



### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2 耐用性・信頼性 (免震装置の導入)
- LR1. 3 設備システムの高効率化 (LED照明設備を導入している)
- LR2. 1 水資源保護 (節水型便器の採用)
- LR2. 2 非再生資源の使用量削減 (OAフロアを採用)
- LR3. 1 地球温暖化への配慮 (LCC02排出削減率 23%)
- LR3. 2 地域環境への配慮 (駐車施設を十分に確保し周辺の渋滞緩和対策としている)